A vertical decorative element on the left side of the slide, featuring a light gray grid with scattered colored squares in orange, green, and blue.

2016年12月期 第2四半期 決算説明会

2016年8月25日

株式会社C&Gシステムズ
JASDAQ:6633



目次

1. 会社概要
2. 2016年12月期第2四半期 決算概要
3. 中長期事業方針
4. 2016年12月期通期業績見通し
5. 株主還元について

1. 会社概要

会社概要

商号	株式会社C&Gシステムズ(JASDAQ 6633)
事業内容	金型向けCAD/CAMシステム※の開発・販売・サポート
所在地	(東京本社)東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー19F (北九州本社)福岡県北九州市八幡西区引野1-5-15
設立年月日	2007年7月2日
代表者	代表取締役社長 塩田 聖一
資本金	5億円
直近業績 (2015年度実績)	売上高：43億12百万円／営業利益：4億56百万円
事業所	国内7拠点(東京2ヶ所/北九州/名古屋/大阪/太田/松本) 海外2拠点(中国/インドネシア) 海外事業子会社3社(タイ/カナダ/米国 [金型製造])
社員数	連結:235名 単体:205名 (2016年6月末現在)

社是、経営理念および成長戦略テーマ

- 社是 「生産性の限界に挑戦する」
- 経営理念 「技術立国日本を代表する
CAD/CAM ソリューションメーカーとして、
世界のモノづくりに貢献する。」
- 成長戦略テーマ 「Global Niche Top」

「金型用CAD/CAM」というニッチな市場において、
グローバルにトップ企業になることを目指す



回復を見せる「国内市場」におけるトップ企業
||
金型向けCAD/CAM市場におけるトップ企業

主要製品および導入実績

■ 製品のポジショニングマップ



■ 累計導入実績および主要ユーザ…国内外合計7,000事業所

国内:6,000事業所

トヨタ自動車 アイシン精機 豊田紡織 立松モールド デンソー ヤマハ発動機
 三光合成 三菱重工 マツダ 深江製作所 三井ハイテック 高城精機 エスバンス
 パナソニック オムロン シマノ がまかつ CHOFU 大阪造幣局 リョービ 昭和精機
 岐阜精機 ミネベア 小糸製作所 スタンレー電気 ホンダエンジニアリング
 アルプス電気 ニフコ TOTO ニコン キヤノン オリンパス パロマ ローム

海外:1,000事業所

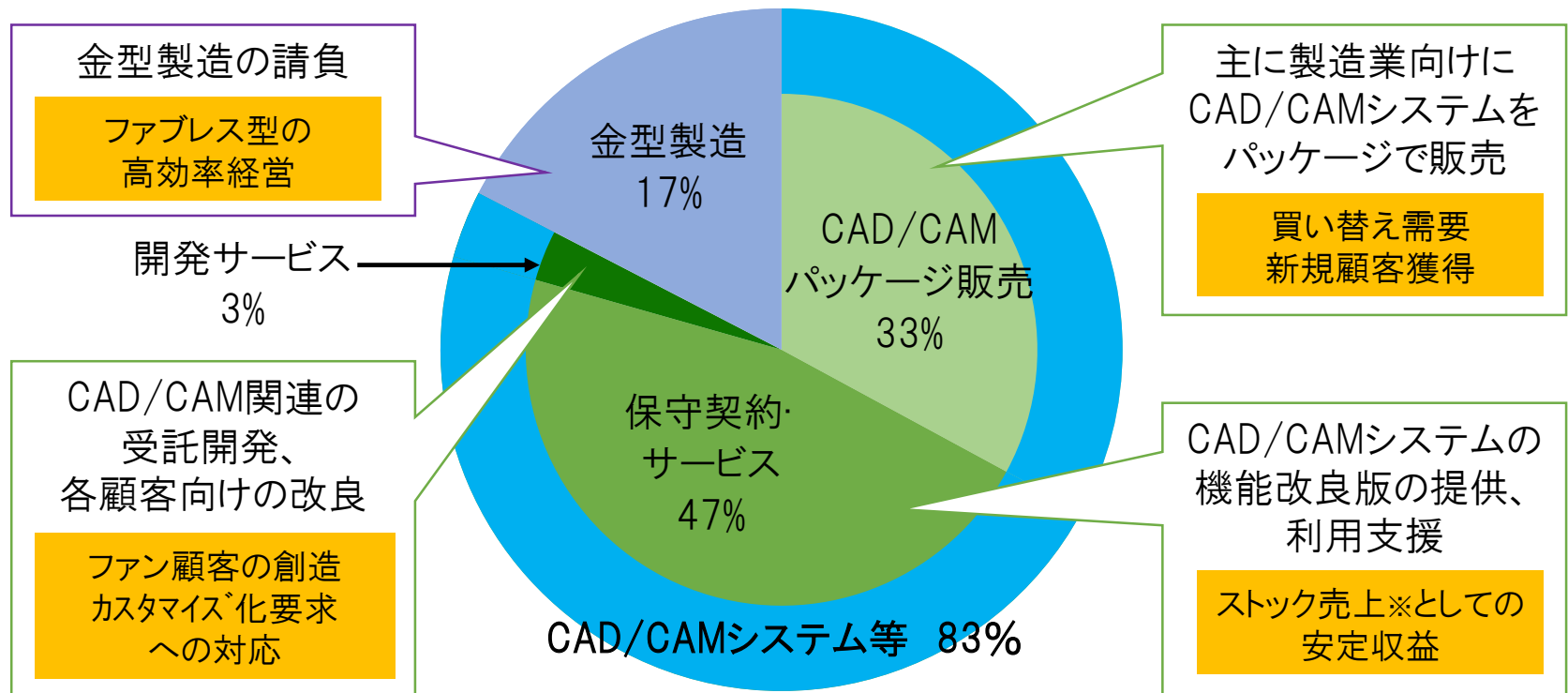
LG電子 サムソン電子 現代自動車
 DOOSAN機械 FOXCONN
 teleflex Medical 友達光電 AMTEK

…その他多数

事業セグメント

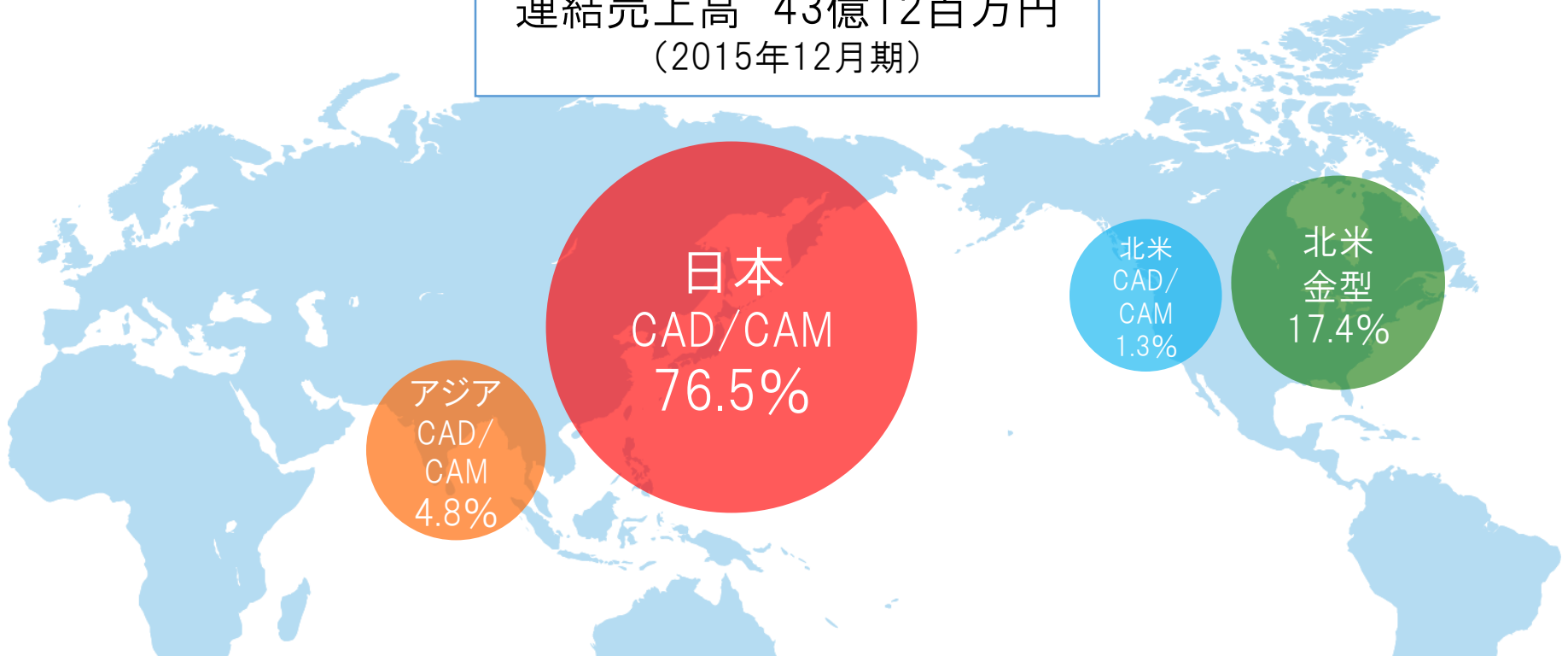
主力事業：金型用CAD/CAMシステムの開発・販売・サポート

【2015年度連結売上高：43億12百万円】



地域別(所在地別)売上高

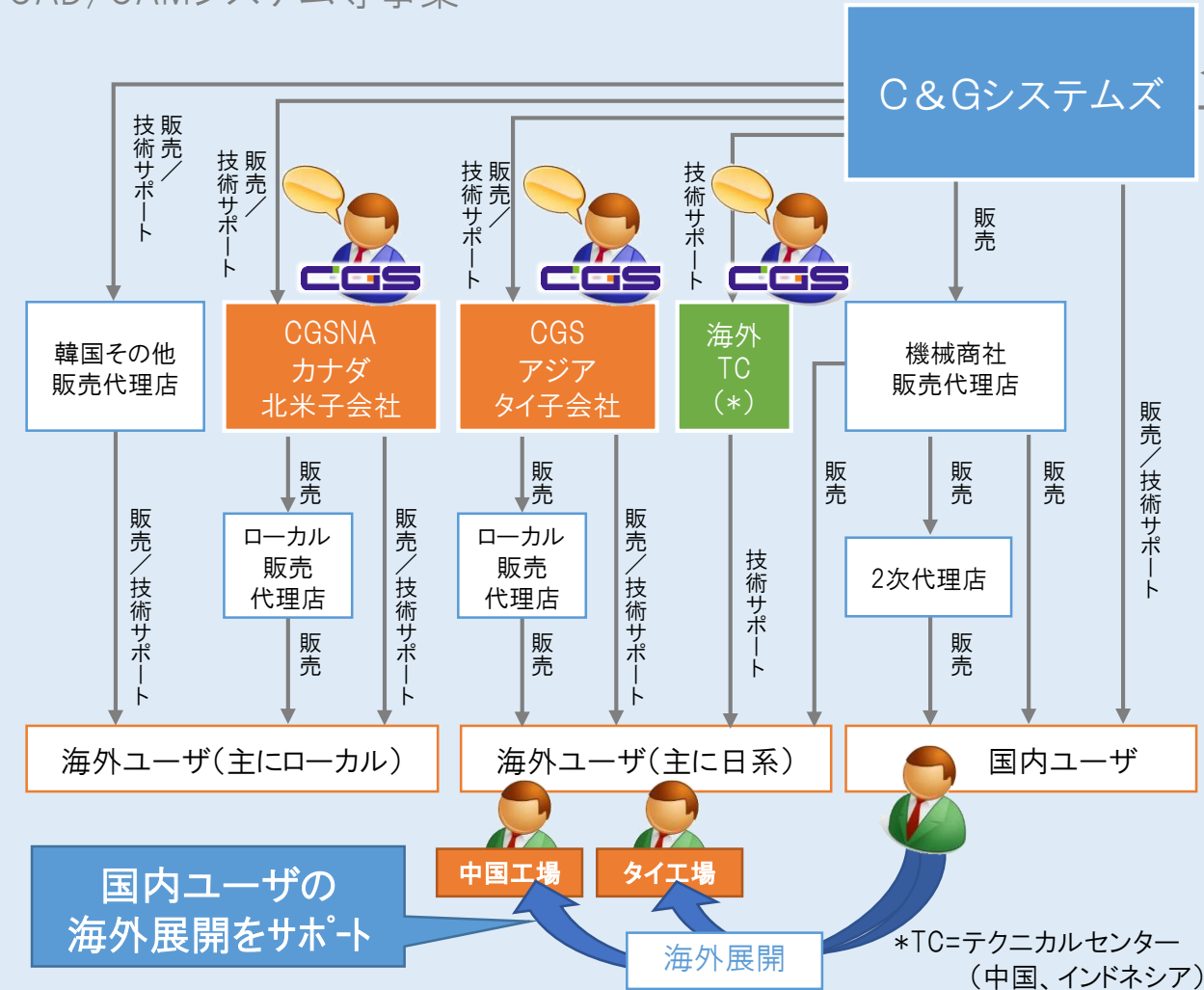
連結売上高 43億12百万円
(2015年12月期)



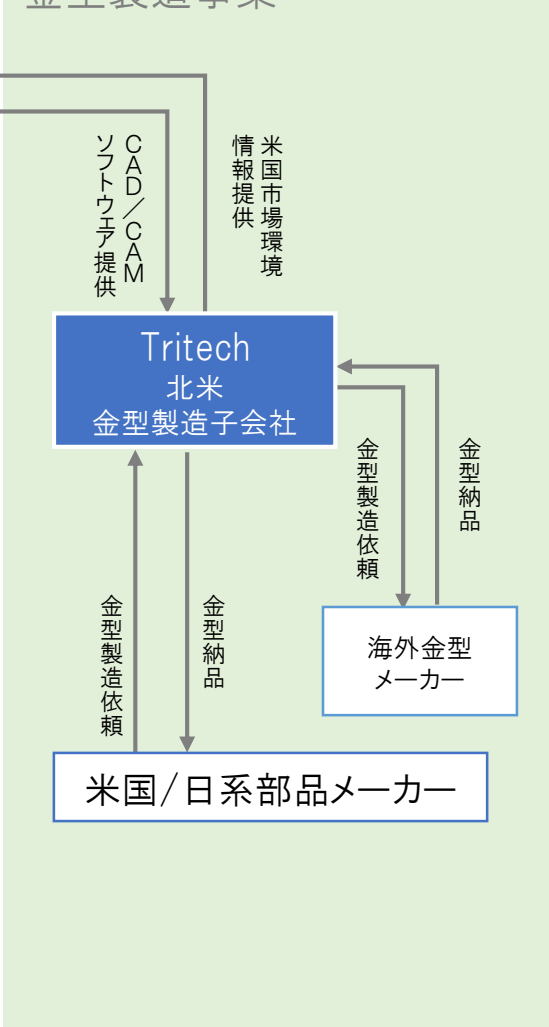
- 海外販売割合(所在地別)は23.5%
- CAD/CAMシステム販売については海外進出した日系企業への直接販売が中心
⇒ 今後は海外ローカル企業への間接販売も強化

事業系統図

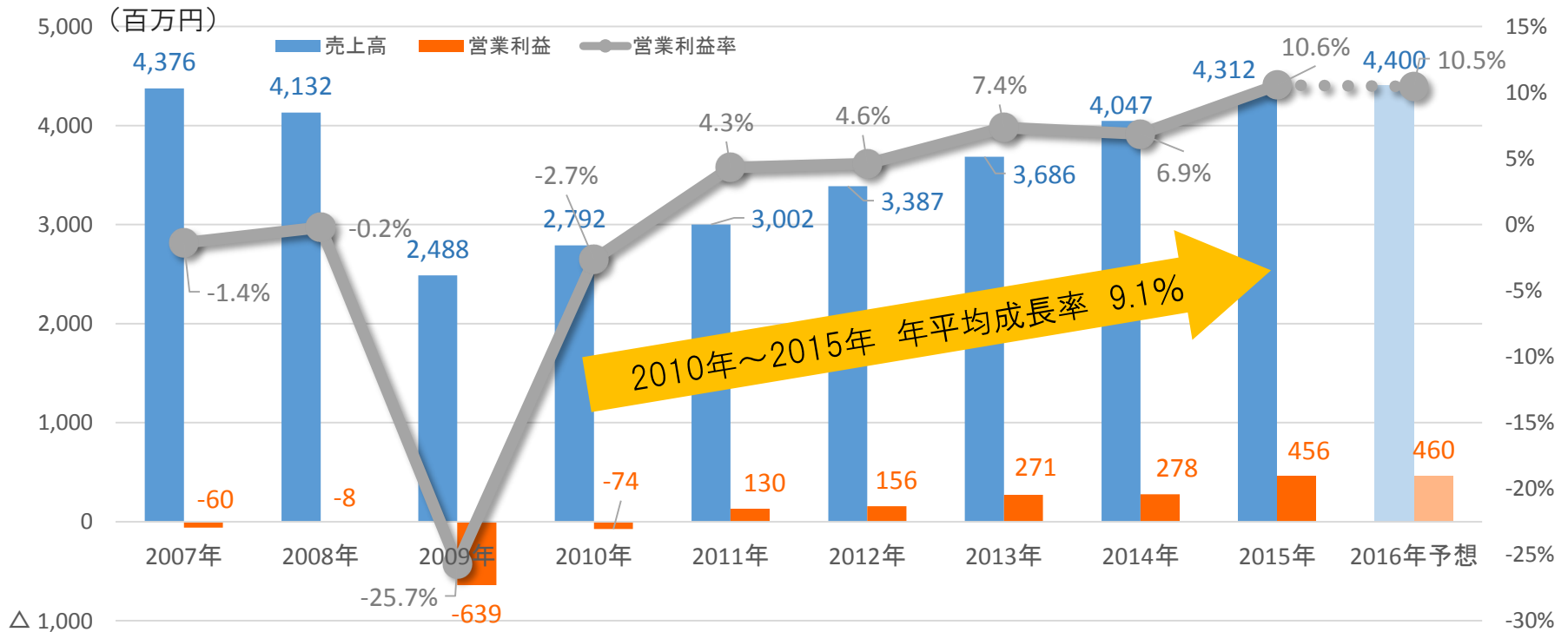
CAD/CAMシステム等事業



金型製造事業



連結業績の推移



2010年～2015年 年平均成長率 9.1%

αHD

- 子会社整理
- リーマンショックによる売上高大幅減

C&Gシステムズ

- 経営合理化
 - ✓ 拠点統合
 - ✓ 本店移転
 - ✓ 人員削減
 - ✓ 給与・報酬カット
- 海外市場強化
 - ✓ 海外向け製品開発
 - ✓ インドネシアTC設立
- 給与・報酬カット終了
- 国内市場強化
 - CGシリーズすべてが「Gold Products」へ
 - OEM製品の強化
 - EXCESS-HYBRID II 大規模リニューアル
 - 3Dプリンタ関連ソリューション開発開始

2. 2016年12月期第2四半期 決算概要

※以降、2016年12月期の「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」と読み替えて記載しております。

第2四半期累計期間 決算ハイライト

■ 通期業績予想に対しては上期進捗率50%で好調に推移

- 売上高 21億79百万円（前期比 7.1%減）
- 営業利益 2億25百万円（前期比 20.7%減）

■ CAD/CAMシステム等事業

- 国内
 - ✓ 2015年は製造業向け政府補助金の執行時期が第1四半期であったが、2016年ではそのターゲット時期が下期になったことの影響を受け、売上が伸び悩んだものの、5～6月に復調。
 - ✓ 保守売上は上期を通して堅調に推移
- 海外
 - ✓ 政情不安、景気冷え込み等によりアジアの主力市場で低調に推移。さらに円高が重なって収益を圧迫する要因に。

■ 金型製造事業

- 北米の自動車産業が活況を呈する中、ドル建てでは好調だった前年同四半期比業績をさらに上回ったものの、円高の影響を受けたため、円建てでは減収減益。

業績概要

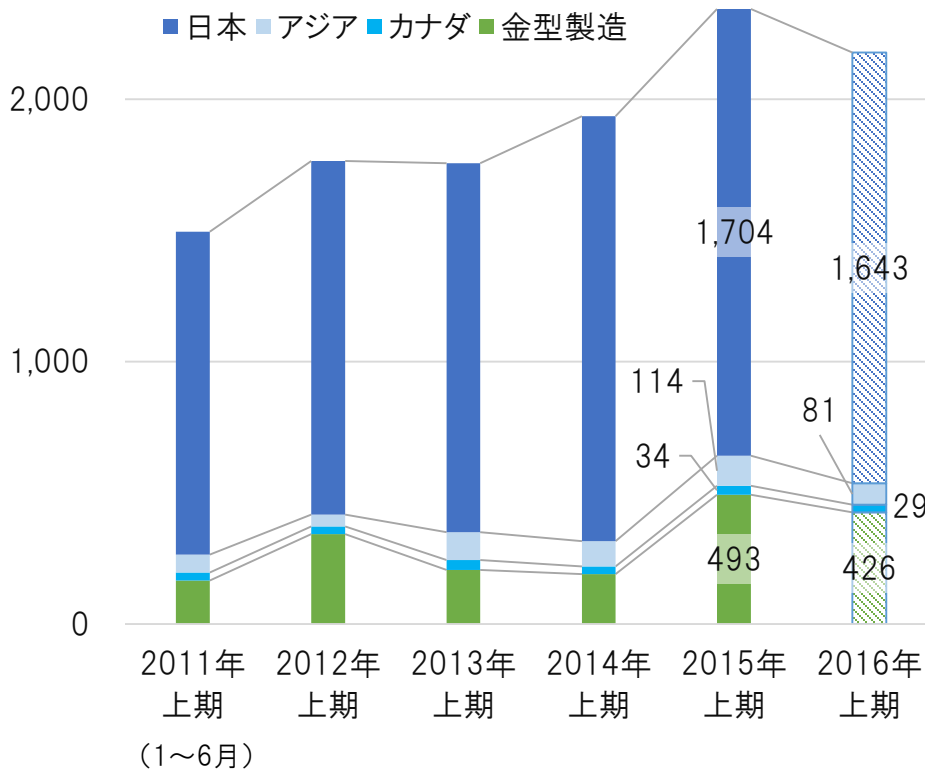
(単位:百万円)

	2015年 上期	2016年 上期	前年同四半期比	
			増減額	増減率
売上高	2,347	2,179	△167	△7.1%
売上原価	925	864	△60	△6.6%
売上総利益	1,421	1,315	△106	△7.5%
販売管理費	1,137	1,089	△47	△4.2%
営業利益	284	225	△58	△20.7%
経常利益	290	241	△49	△17.1%
税金等調整前四半期純利益	290	241	△49	△17.1%
四半期純利益	201	137	△64	△31.9%

		2015年 第2四半期末	2016年 第2四半期末	前四半期との 差異割合(%)
為替 レート	ドル	122.45円	102.91円	△16.0%
	パーツ	3.62円	2.93円	△19.1%
	カナダドル	98.61円	79.57円	△19.3%

事業セグメント別売上高の推移(会社所在地別)

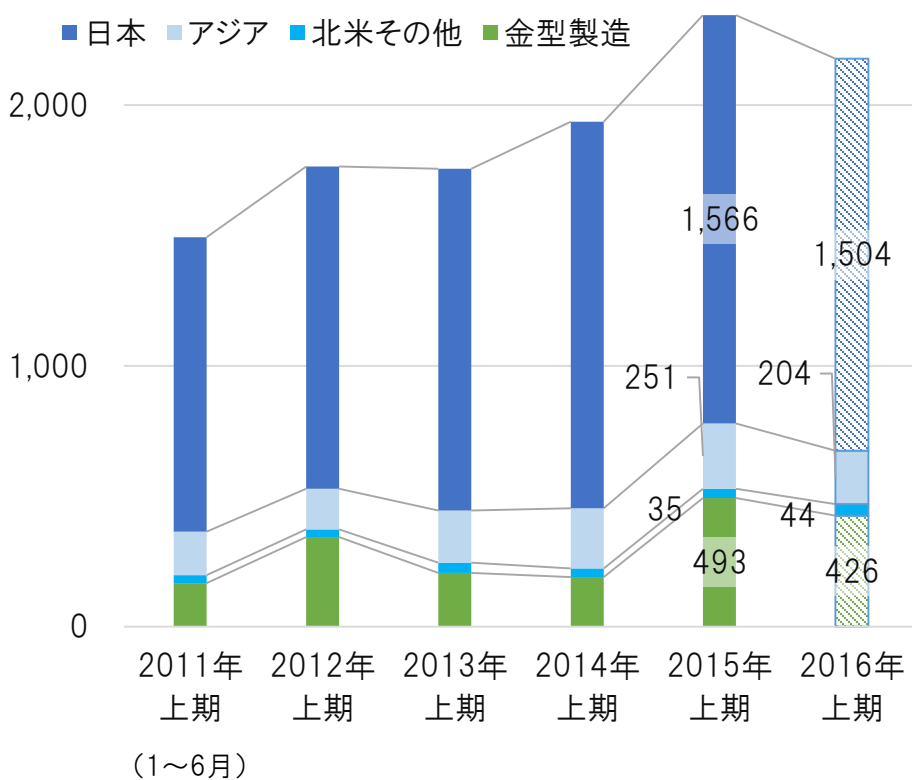
(百万円)



売上高 (百万円)	2015年 上期 【実績】	2016年 上期 【実績】	前年同四半期比	
			増減額	増減率
CAD/CAM	1,853	1,753	△99	△5.4%
国内	1,704	1,643	△61	△3.6%
北米	34	29	△5	△14.8%
アジア	114	81	△33	△29.3%
金型製造	493	426	△67	△13.7%
北米	493	426	△67	△13.7%
合計	2,347	2,179	△167	△7.1%

事業セグメント別売上高の推移(仕向地別)

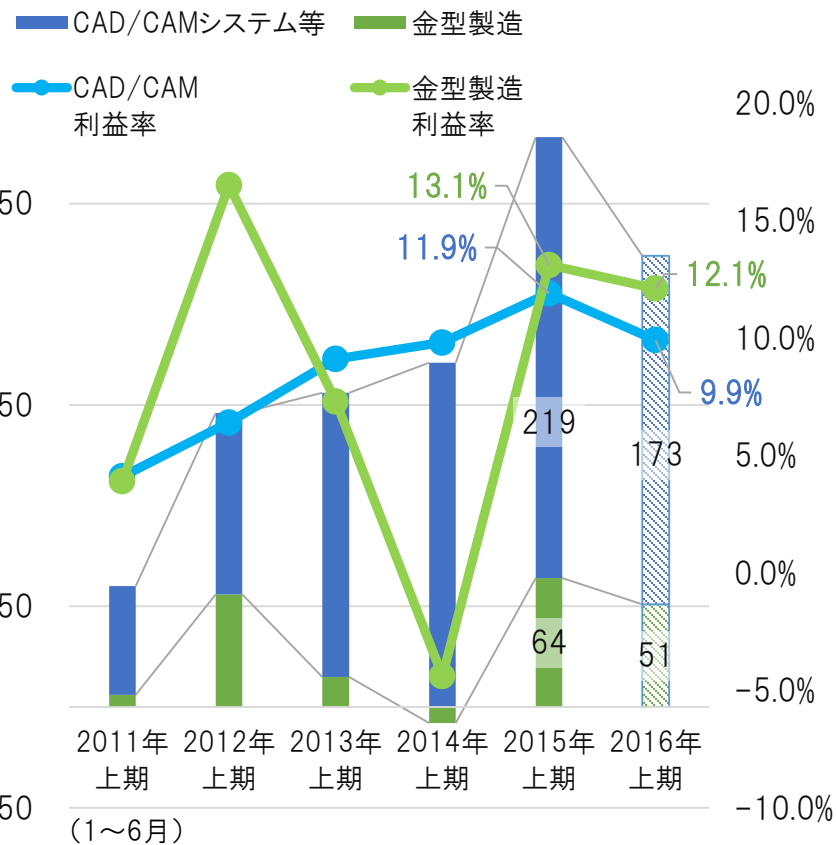
(百万円)



売上高 (百万円)	2015年 上期 【実績】	2016年 上期 【実績】	前年同四半期比	
			増減額	増減率
CAD/CAM	1,853	1,753	△99	△5.4%
国内	1,566	1,504	△62	△4.0%
北米	34	27	△7	△22.6%
アジア	251	204	△46	△18.5%
その他	0	17	+17	+6,008.6%
金型製造	493	426	△67	△13.7%
北米	493	426	△67	△13.7%
合計	2,347	2,179	△167	△7.1%

事業セグメント別利益の推移

(百万円)

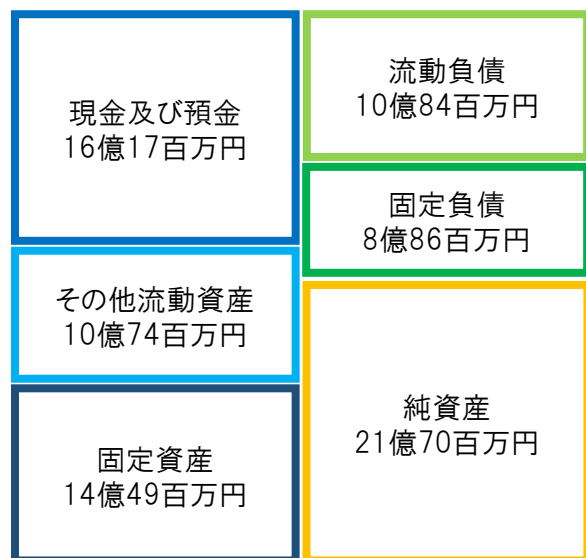


科目	2015年 上期 【実績】	2016年 上期 【実績】	前年同四半期比	
			増減額	増減率
CAD/CAM				
売上高	1,853	1,753	△99	△5.4%
営業利益	219	173	△45	△20.8%
営業利益率	11.9%	9.9%		
金型製造				
売上高	493	426	△67	△13.7%
営業利益	64	51	△13	△20.3%
営業利益率	13.1%	12.1%		
合計				
売上高	2,347	2,179	△167	△7.1%
営業利益	284	225	△58	△20.7%
営業利益率	12.1%	10.3%		

財務状況

■ 自己資本比率51.1%、無借金経営を継続

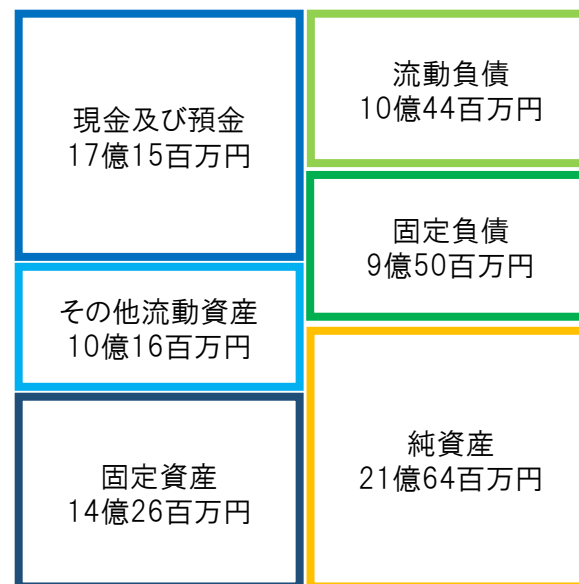
【2015年12月期 期末】



総資本合計 41億41百万円

自己資本比率 51.3%

【2016年12月期 第2四半期】



総資本合計 41億59百万円

自己資本比率 51.1%

主な要因

資産項目：現金及び預金+98百万円、棚卸資産△60百万円、無形固定資産△18百万円

負債項目：未払法人税等40百万円、前受金△22百万円

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2015年 上期	2016年 上期	コメント
営業活動による キャッシュ・フロー	△96(*1)	299	<ul style="list-style-type: none"> 税金等調整前当期純利益241百万円:各事業の利益貢献 その他の主な内訳:減価償却費60百万円、退職給付に係る負債の増加額46百万円、売上債権の減少額25百万円、未払金の減少額20百万円 (*1) 2015年に営業CFにおいて、自己株式取得用資金△429百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△74	1	<ul style="list-style-type: none"> 主な内訳:無形固定資産の取得による支出21百万円、保険積立金の積立による支出12百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△397(*2)	△117	<ul style="list-style-type: none"> 配当金の支払額97百万円:平成27年度期末配当10円 (*2) 2015年第2四半期に自己株式の取得303百万円
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△36	
現金及び現金同等物の増減額	△568	146	
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,351	1,643	
フリーキャッシュフロー	△171	300	

※フリーキャッシュフロー＝営業活動CF＋投資活動CF

3. 中長期事業方針

SWOT分析

強み

- 《市場評価》
 - ・ 自社開発型金型向けCAD/CAMメーカー
 - ・ 業界No1の累積導入実績
- 《事業内容》
 - ・ 型種、製造工程の全天候商品ラインアップ
 - ・ 販社、業界関連企業とのネットワーク構築
 - ・ 保守更新率80%以上を確保
 - ・ 新規システム販売率20%以上

機会

- 《国内》
 - ・ 競合の撤退
 - ・ 製造業の国内回帰
 - ・ 好調な自動車産業
 - ・ 設備投資意欲の増加
- 《海外》
 - ・ 世界的には金型は成長産業
 - ・ 自動化（個別カスタマイズ）志向の高まり
 - ・ 金型先進国の現地製造体制の強化
- 《その他》
 - ・ 他社からの協力依頼増加
 - ・ 3Dプリンタ関連ソリューション事業への参入

弱み

- 《市場評価》
 - ・ 金型業界以外の進出不足
 - ・ 海外市場における認知度不足
- 《事業内容》
 - ・ 開発、技術サポートの分散化
 - ・ 慢性的な開発人員、工数不足
 - ・ 大手内製部門への進出不足
 - ・ 海外展開(特にローカル企業向け)の不備
 - ・ 製品ライフサイクルの成熟

脅威

- 《国内》
 - ・ 金型事業所数縮小
 - ・ 円安による金型製造の収益縮小
 - ・ 海外商品との低価格化競争
 - ・ 政府支援策終了による設備投資力の低下
- 《海外》
 - ・ 中国：景気減退と企業の進出低下、コピー商品とのアンフェア競争
 - ・ 韓国：ウォン高、製造業全体の不振
 - ・ アセアン：政情不安と製造インフラ整備の遅れ
 - ・ 欧米：汎用CAD/CAMメーカーからの上流から下流までの完結支援
- 《その他》
 - ・ 天変地異での当社及び市場ダメージ
 - ・ 3Dプリンタでの金型、量産部品の本格製造

SWOT分析結果

どのように強みを活かし、チャンス(機会)を得るか

強み	弱み
機会	脅威

- 既存ユーザ、市場認知を武器とした事業展開
- 現有リソースを活かした事業拡張
- カスタマイズ環境整備による国内外の大手企業への参入

基本戦略① 既存の基幹収益源(国内CAD/CAMシステム事業)の維持・拡張

どのように弱みを克服し、脅威を回避するか

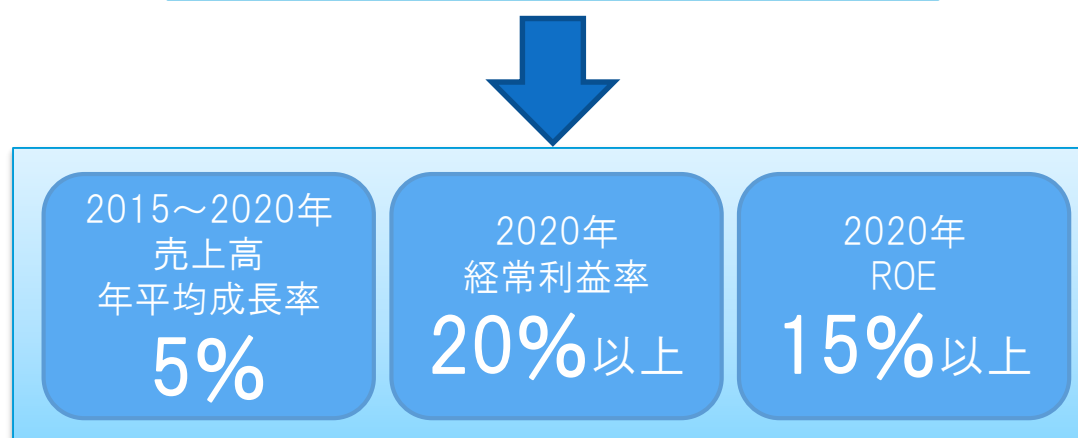
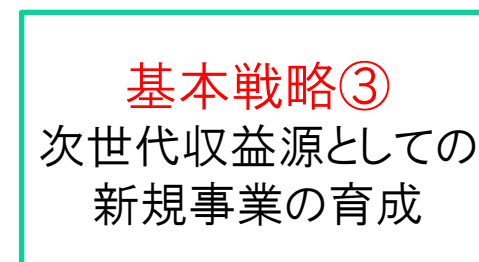
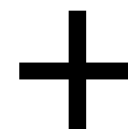
強み	弱み
機会	脅威

- 開発体制の多様化(新技術導入、海外開発スタッフ等)
- 海外ローカル市場を意識したCAD/CAM販売網の構築
- 技術イノベーションによる新たな事業創造

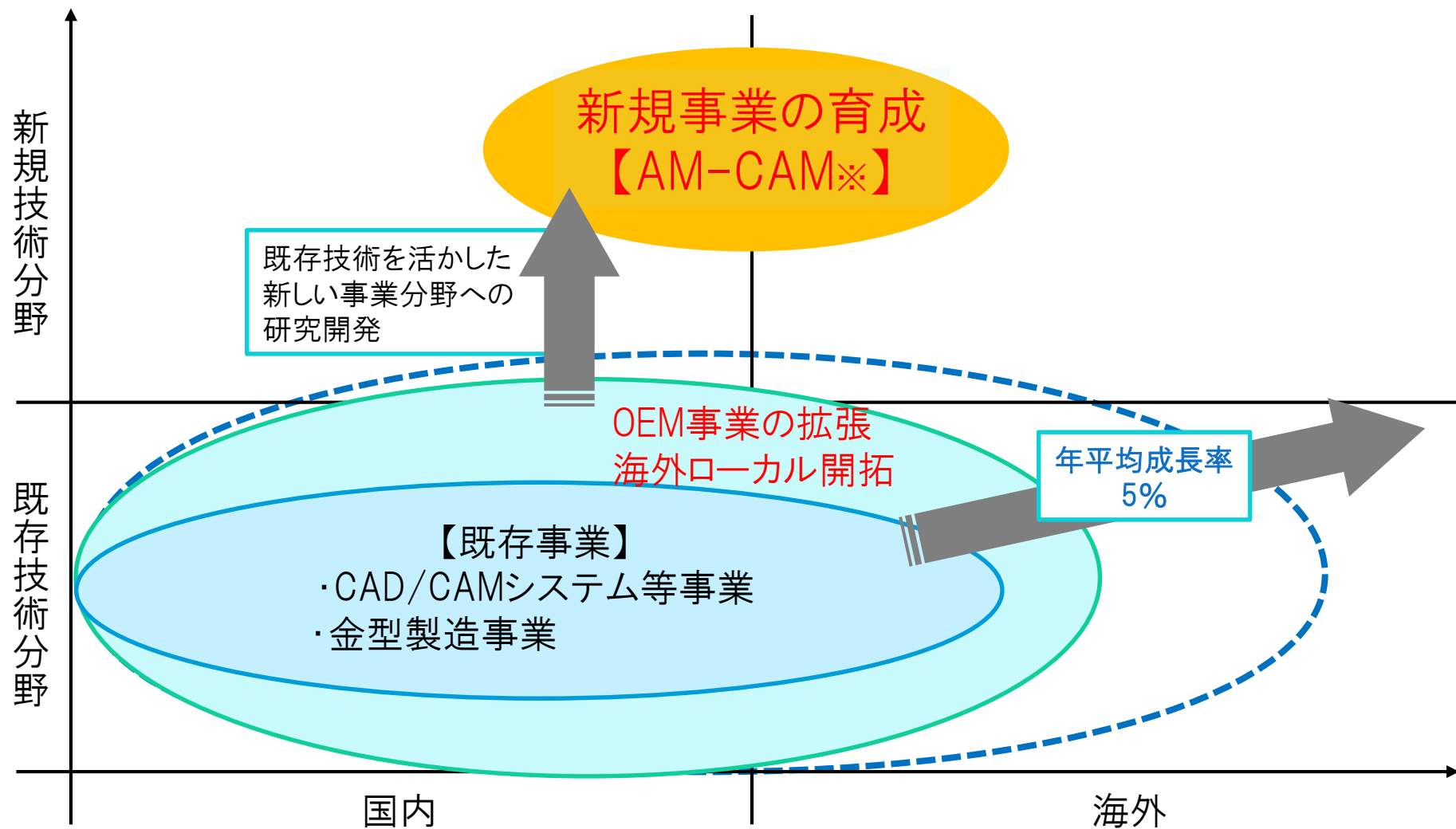
基本戦略② 成長する海外CAD/CAM市場の取り込み

基本戦略③ 次世代収益源としての新規事業の育成

中長期事業方針

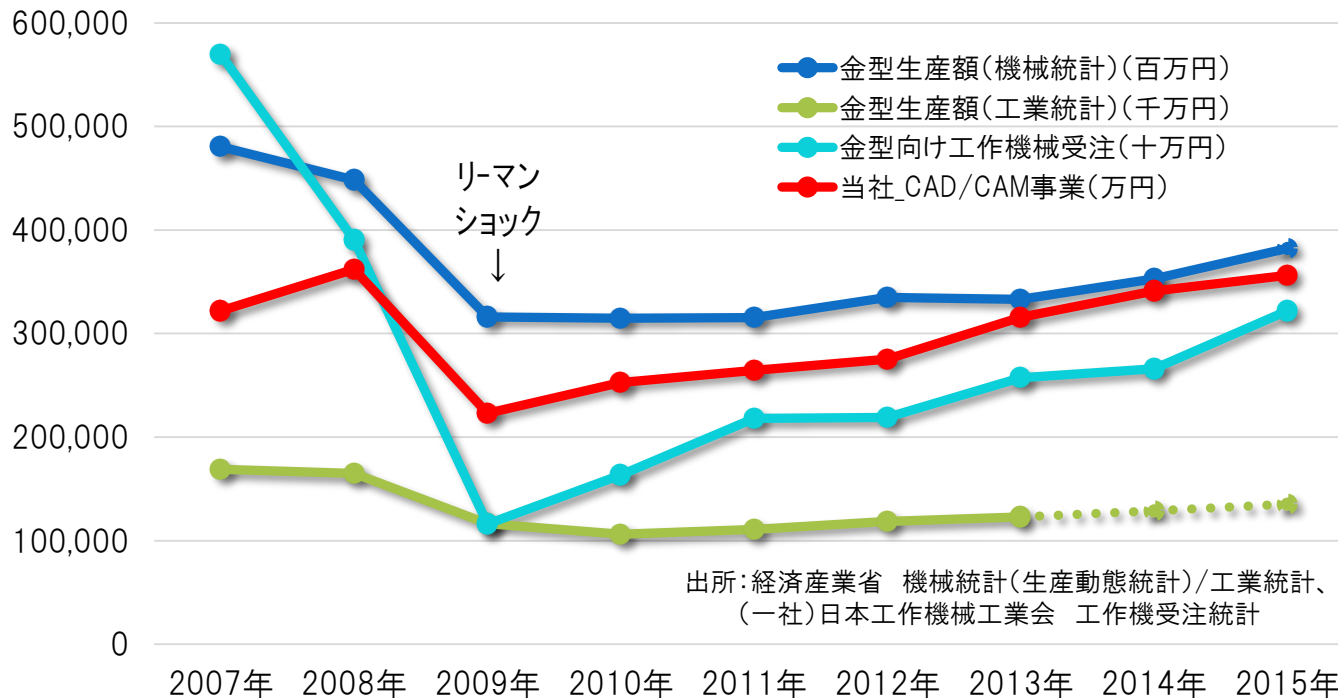


中長期の方向性



国内金型市場のトレンドと当社業績との比較

国内金型市場のトレンドと当社業績との比較：金型生産額および工作機械受注

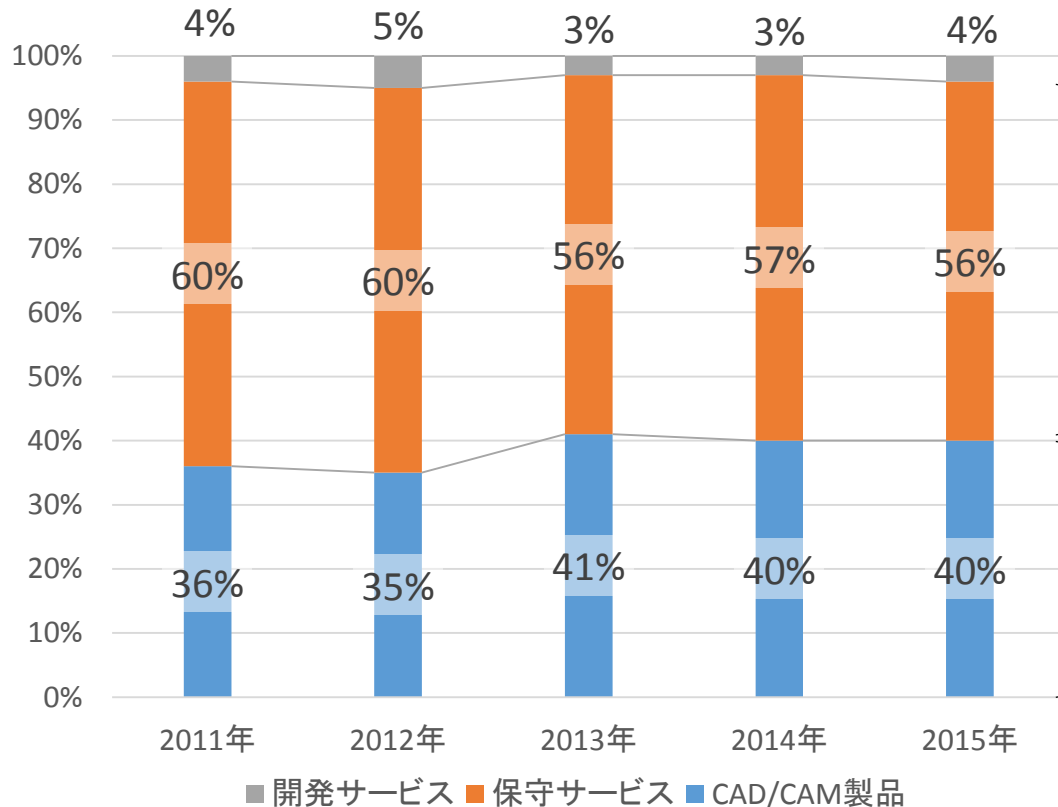


※金型生産額(工業統計)2014年・2015年は2010年を起点とした3カ年の年平均成長率より算出

リーマンショックからの回復と円安により製造業の収益が改善
各種政府支援策によりモノづくり産業の設備投資を後押し

安定収益源としての保守売上(ストックビジネス)

CAD/CAMシステム等事業 販売内訳



保守販売

保守更新率80%以上をキープ

CAD/CAMシステムのユーザに
保守サービスを提供する一方で、
「年間保守料」として安定した収益を確保

製品販売

新規システム販売率20%以上

国内外7,000事業所に上る既存ユーザの
CAD/CAMシステム買い替え需要に加え、
新規顧客も増加傾向
※2015年度実績:26.1%

魅力ある製品、満足度の高い技術サポート提供により
新規販売および既存ユーザの買い替え需要を喚起

OEM事業および新規事業の育成

～2015年

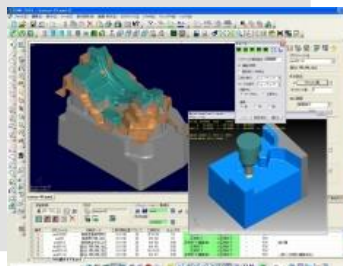
他社CAD/CAMへのOEM提供

- 日本ユニシス・エクセリューションズ(株)様 (「CADmeister」)
- 日進工具(株)様 (「NS-Micro CAM」)
- (株)アルゴグラフィックス様 (「iBlue CLIKS」)
- その他複数の国内外の工作機械、CAD/CAMシステムメーカーに展開

研削盤※へのOEM提供

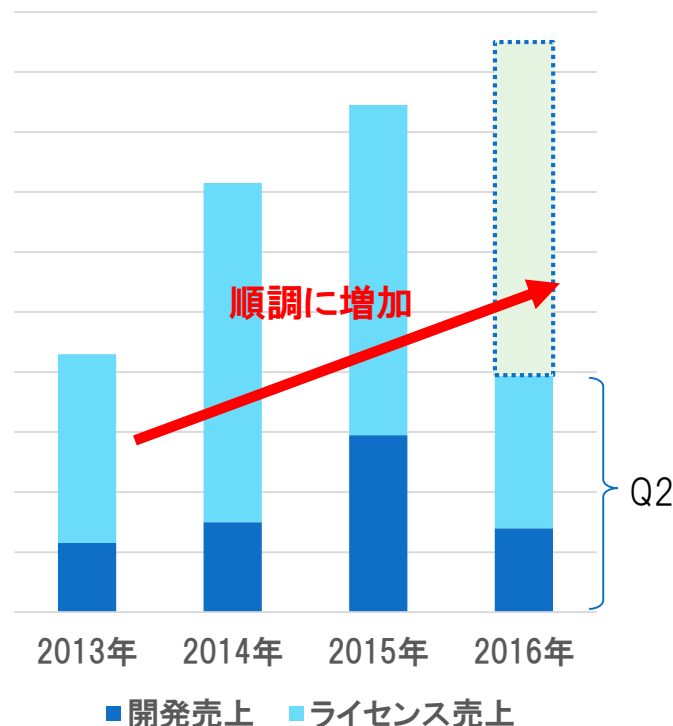
- (株)三井ハイテック様 (「MPG-GRPS」)
- その他複数の研削盤メーカーに展開

(参考)CAM-TOOL画面



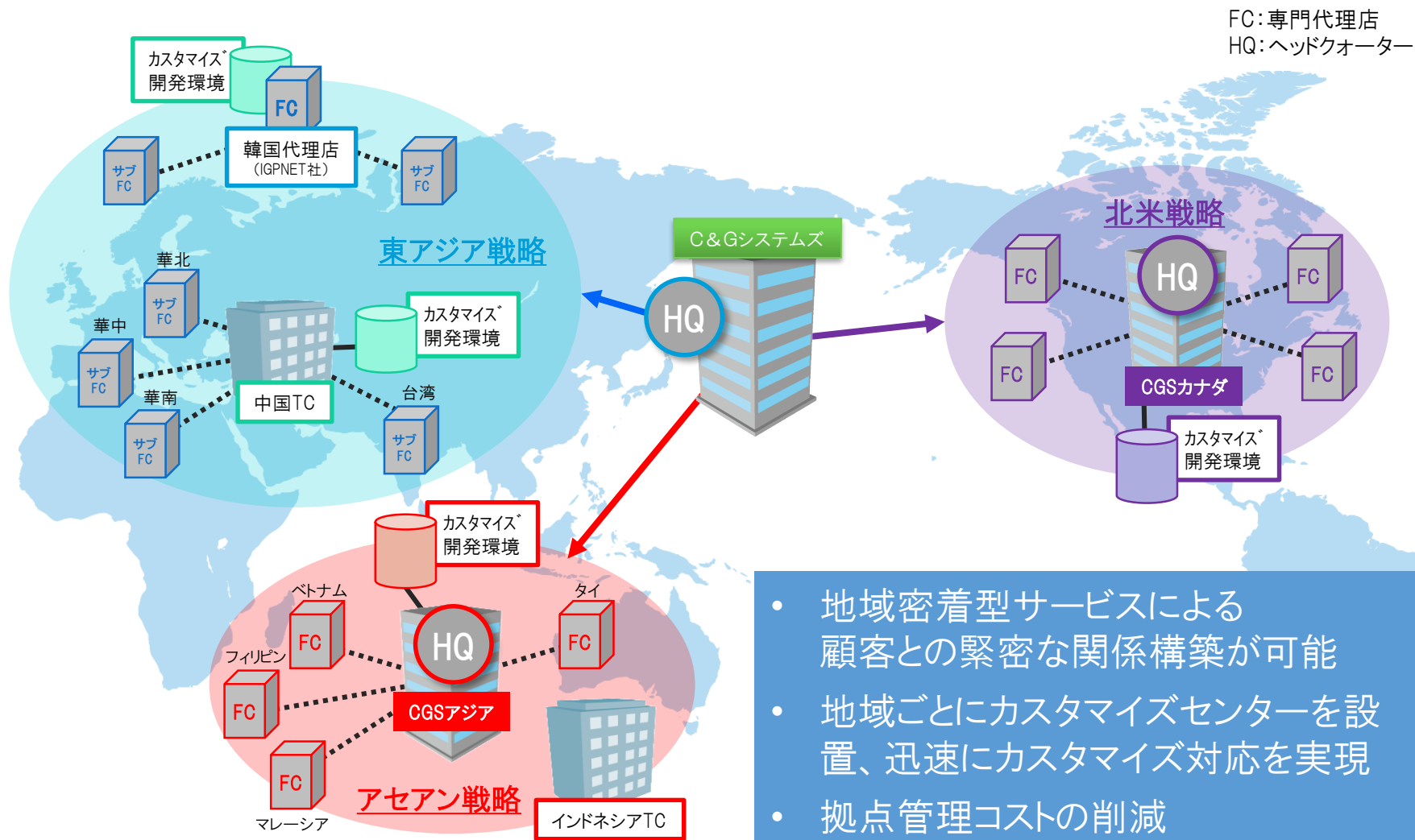
【OEM売上の推移】

…連結売上高の3%前後



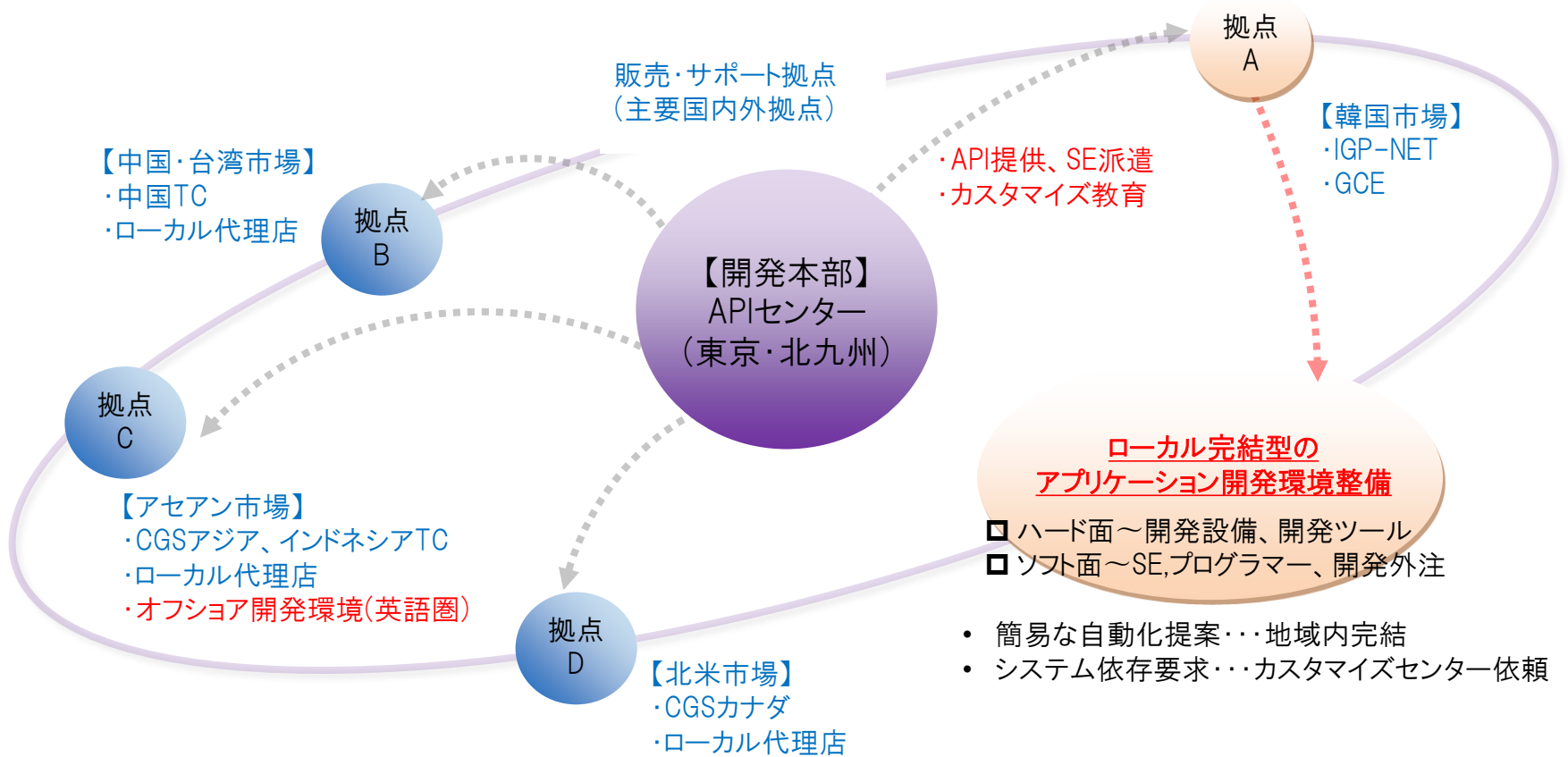
当社のCAD/CAM技術を活かした、新規OEM案件を開拓

専門代理店(フランチャイズ化)/カスタマイズ開発拠点の構築



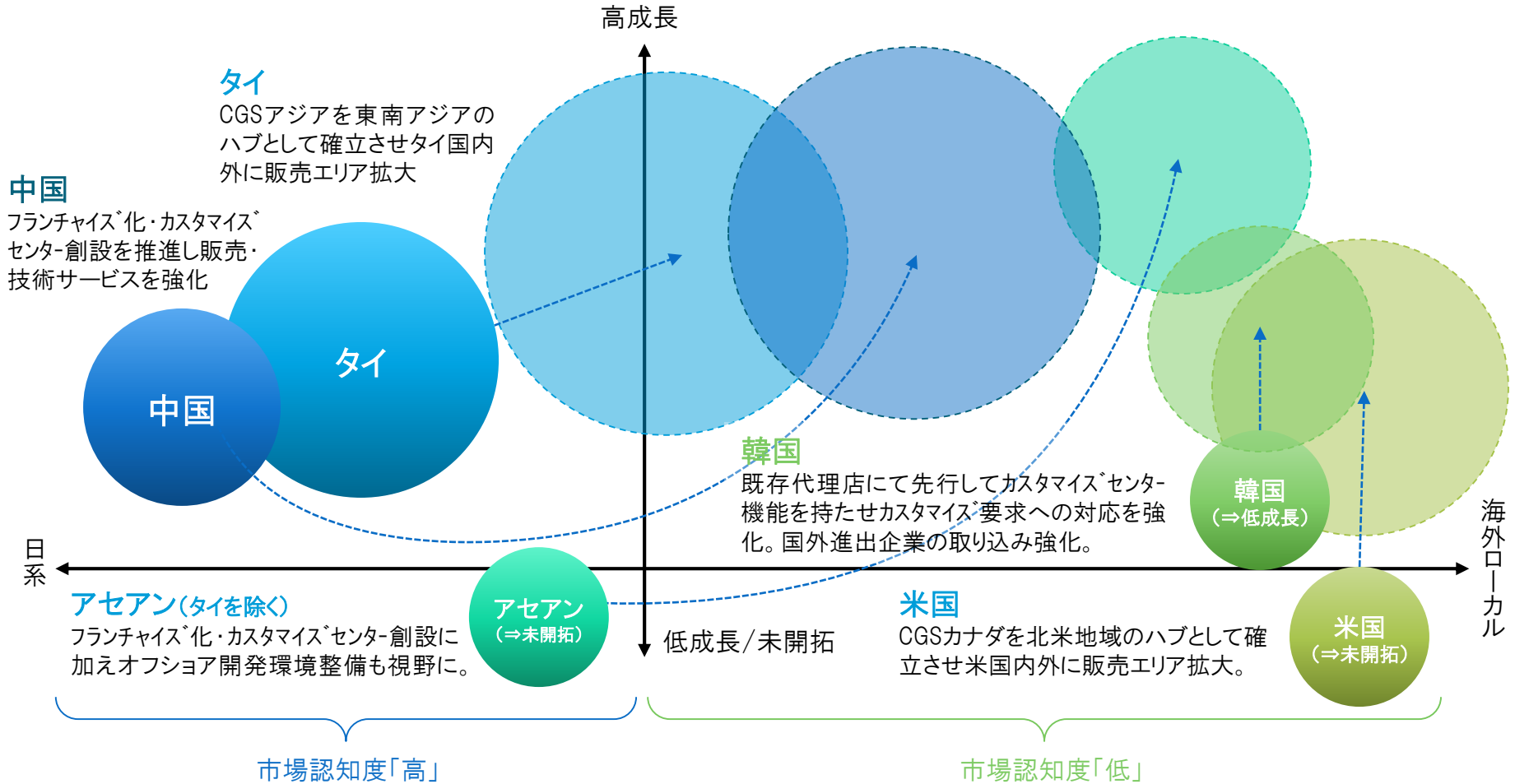
- 地域密着型サービスによる顧客との緊密な関係構築が可能
- 地域ごとにカスタマイズセンターを設置、迅速にカスタマイズ対応を実現
- 拠点管理コストの削減

カスタマイズ開発：API※サテライト構想



API(Application Program Interface)公開によるビジネス拡大
A:韓国市場 ⇒ B～Dへ展開

海外進出状況と今後の成長見込みイメージ



日系を中心としたビジネス展開から海外ローカル市場創造へ

AM-CAM※

同時5軸制御Additive Manufacturing(加法的製造)によるLight Weight Structure(軽量構造)の実現

現在の3Dプリンターは、精度や使える材料の制限、ランニングコストの高さなど、大きな技術的問題点を抱えており、実用化の広がりの障害になっている。積層造形の大きなメリットのひとつは、従来技術では不可能またはコストがかかりすぎる構造が容易に実現できることにある。現在の問題点を解決するだけでなく、立体メッシュに代表される軽量構造を生産できるように、コンセプトが全く異なる立体造形技術の確立を目指す。



CADデータから造形+加工の
NCデータ※を直接生成

同時5軸制御による
積層造形と切削加工

Light Weight Structure: 宇宙航空、
医療健康、自動車、家電など

従来技術: 3Dプリンタ



新技術: 同時5軸制御

※「平成27年度戦略的基盤技術高度化支援事業 事業成果報告

『事業名: 同時5軸制御 Additive Manufacturing (加法的製造)によるLight Weight Structure(軽量構造)の実現』より引用

4. 2016年12月期通期業績見通し

通期の見通し

- 国内:引き続き堅調な推移を想定するも円高の影響を懸念
- 海外:中国をはじめとするアジア地域での先行き不透明な状態が継続

市場環境の変化(+)

(国内)

- 政府の製造業向け支援策が継続
- 中日本を中心に自動車関連業が引き続き堅調に推移

(海外)

- 中国製造業(自動車関連)の冷え込みは一服
- 北米自動車産業も引き続き好調を維持

市場環境の変化(-)

(国内)

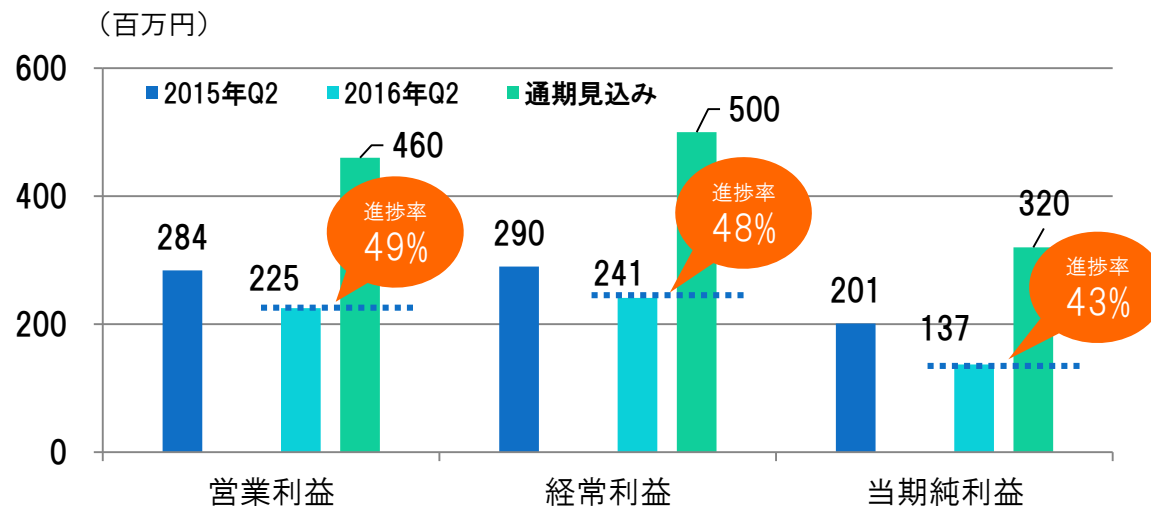
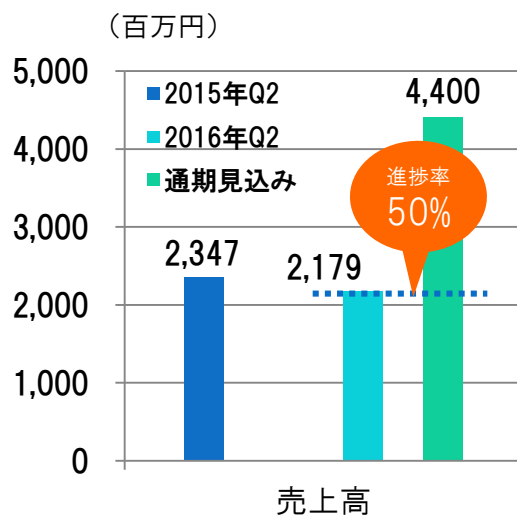
- 堅調な推移を想定するも円高による収益悪化・設備投資抑制の懸念あり

(海外)

- 中国の経済減速
(IT関連設備の投資停滞)
- 韓国景気の低迷と製造業の海外移転
- タイの政情不安が継続

2016年12月期第2四半期の進捗状況

(単位:百万円)	①2015年 上期	②2016年 上期	前年同期比	③2016年 通期見込み	予想に対する進捗率 (③÷②)
売上高	2,347	2,179	△7.1%	4,400	50%
営業利益	284	225	△20.7%	460	49%
経常利益	290	241	△17.1%	500	48%
当期純利益	201	137	△31.9%	320	43%



業績予想に対する進捗は売上は50%程度と順調に推移
 当期純利益は繰越欠損金の減少により法人税等が増加し進捗率43%

2016年下期の取り組み

■ 国内CAD/CAMシステム事業

- 補助金採択ユーザに対する受注活動と刈り取り
- 保守更新率の向上によるストック売上の確保
- 主力CAMシステムのオプション販売強化

■ 海外CAD/CAMシステム事業

- 生産財メーカー・販売店等との協業による新規開拓継続(ローカル販社アプローチ)
- インターナショナルスタッフ育成による戦力増強化
- フランチャイズ化に向けた活動を開始

■ OEM事業/新規事業

- 国内外のOEM先の開拓・開発を継続(切削CAM系/研削CAM系/放電CAM系)
- AM-CAM商品化に向けて研究開発を継続(11月JIMTOF展示予定)

2016年12月期 連結通期業績予想

(単位:百万円)

科目	2015年 連結業績 (実績)	2016年通期 連結業績予想		2016年予想－2015年実績 比較	
		2016年 2月12日(予想)	構成比	増減額	増減率
売上高	4,312	4,400	100.0%	+87	+2.0%
営業利益	456	460	10.5%	+3	+0.8%
経常利益	489	500	11.4%	+10	+2.1%
当期純利益	310	320	7.3%	+9	+3.0%

		2015年 期末	2016年度 連結業績予想 想定レート	2016年 第2四半期末	為替換算による 影響(%)
為替 レート	ドル	120.61円	118.00円	102.91円	△12.8%
	パーツ	3.34円	3.50円	2.93円	△16.3%
	カナダドル	87.18円	95.00円	79.57円	△16.2%

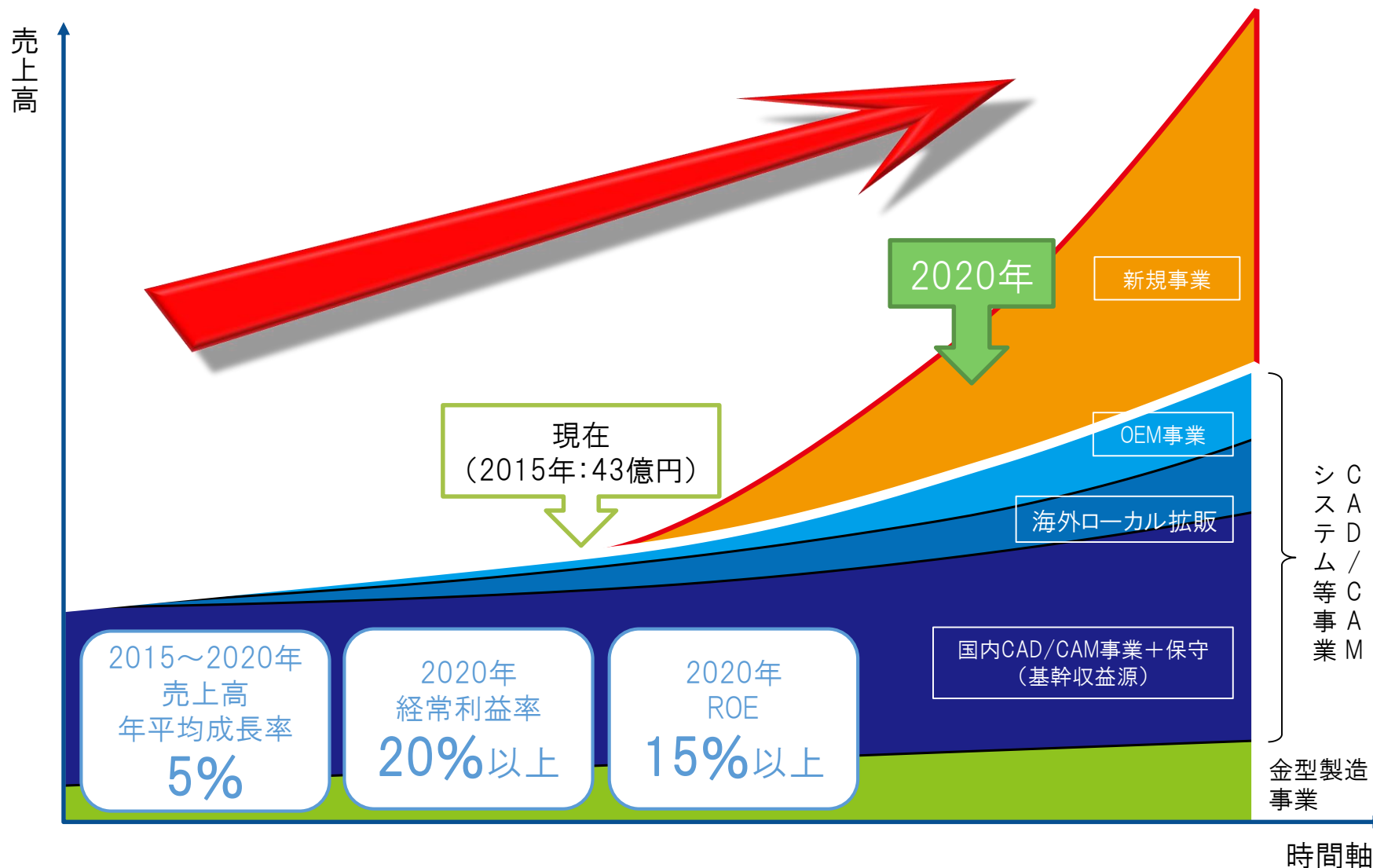
2016年期末の為替レートが
2016年6月30日現在の為替レートと
同レベルとなった場合の為替換算による
収益に対する影響額見込み(海外事業子会社3社計)

連結売上高に対し 約1億50百万円
連結営業利益に対し 約16百万円

連結セグメント売上予想

科目	2015年 連結業績 【実績】	2016年通期 連結業績予想		2016予想—2015年実績 比較	
		2016年 2月12日 【予想】	構成比	増減額	増減率
CAD/CAM システム等事業	3,561	3,650	83.0%	+88	+2.5%
金型製造事業	751	750	17.0%	△1	△0.2%
合計	4,312	4,400	100.0%	+87	+2.3%

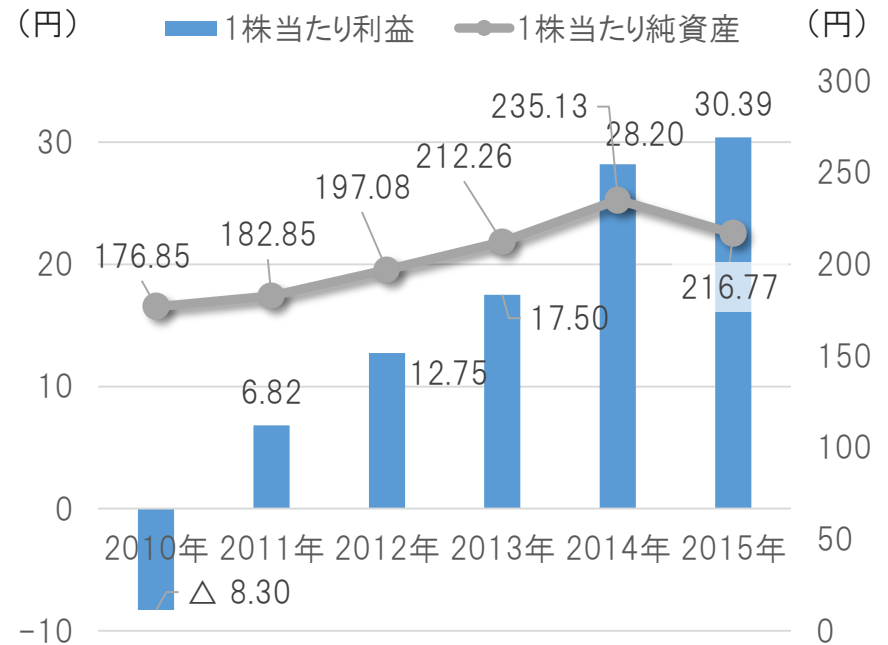
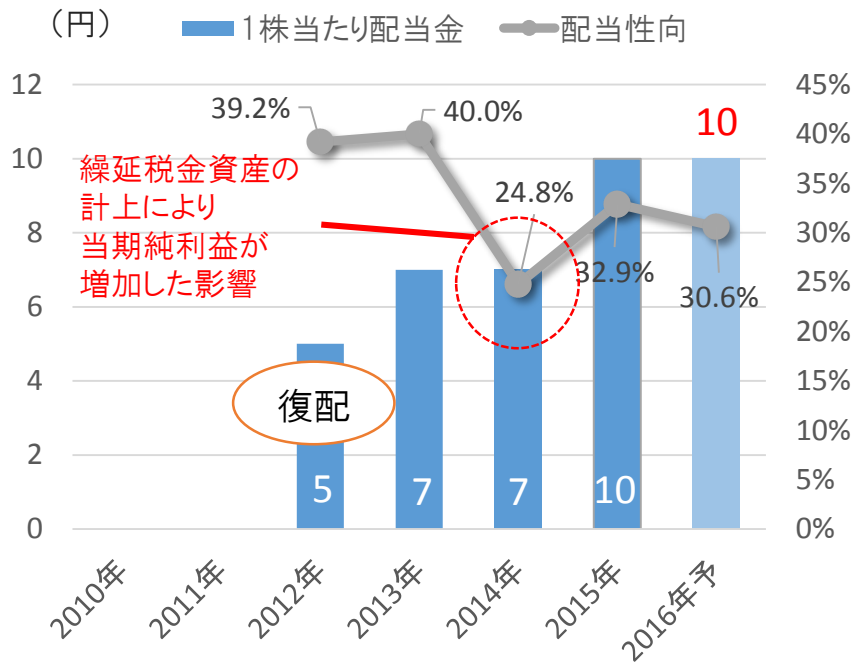
今後の成長イメージ (現有事業の拡張+新規事業)



5. 株主還元について

配当について

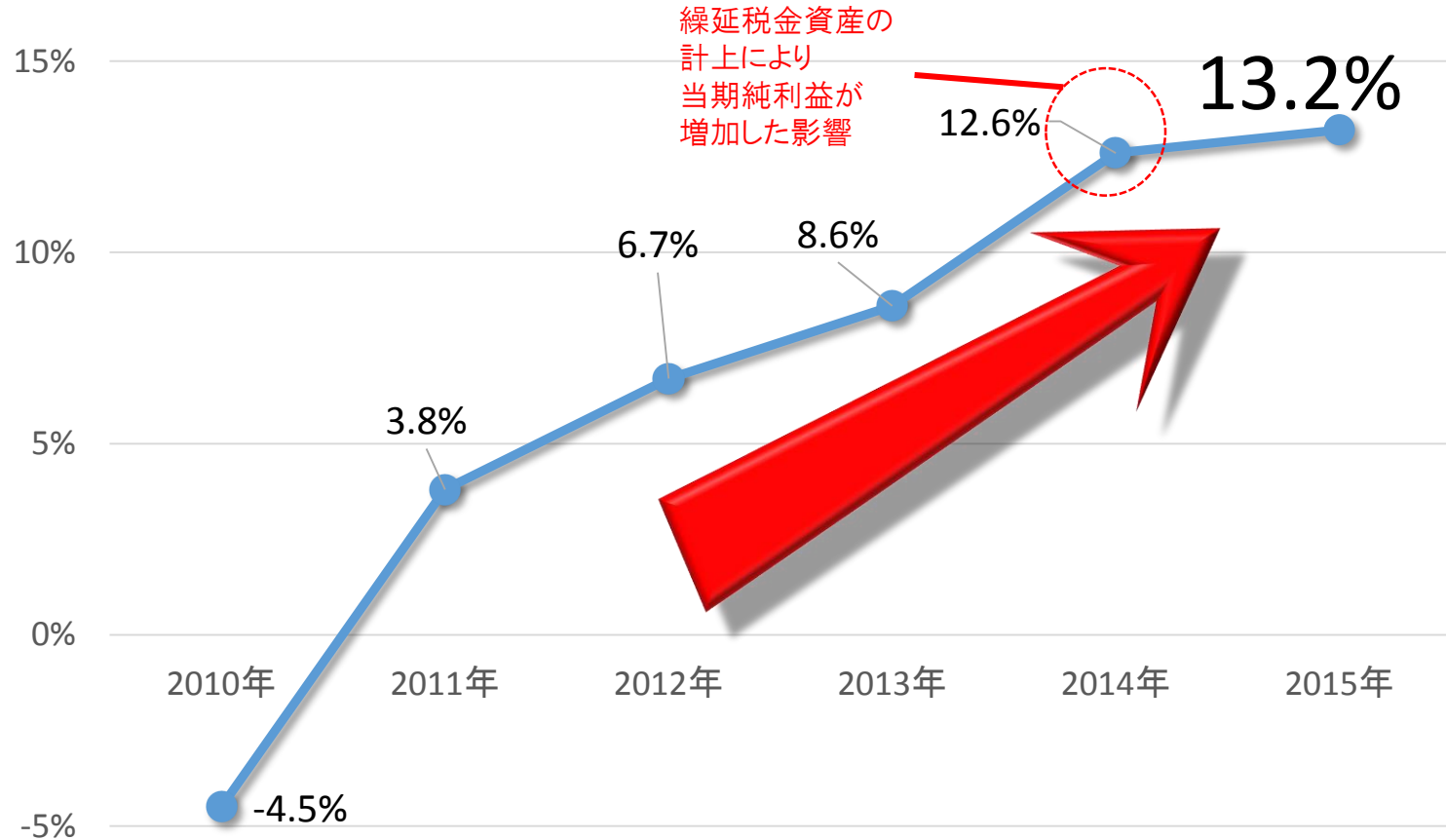
- 業績連動による配当を継続的に実施すると同時に企業価値の最大化を目指す






(ご参考)ROEの推移

■ 収益性を高めることにより、ROEのさらなる向上を目指す



(ご参考) 専門用語集

用語	意味
AM-CAM	AM=「Additive Manufacturing(積層造形法)」、いわゆる3Dプリンタなどの「付加加工」を実現するためのCAMシステム。製品の加工法は、「付加加工」に加え、マシニングセンタなどの「除去加工」、金型などによる「成型加工」に大別される。
API	API=「Application Programming Interface」。すでにある機能呼び出すための関数。従来のソフトウェア開発ではプログラムを一からコーディングしていたが、APIを利用してプログラムをすることによって容易にカスタマイズ等ができるようになる。
NCデータ	NC=「Numerical Control」。マシニングセンタなど工作機械を動作させるための数値制御データのこと。
CAD/CAMシステム	CADとは、どんな製品を作るか、コンピュータ上で設計を支援するためのツール。また「金型用CAD」とは、製品設計データを元に、強度計算や冷却水の経路、高い精度と高度な品質が要求される金型の設計を支援するツール。 CAMとは、CADで作成されたデータを加工用の「NC[Numerical Control]データ」という数値データに変換し、工作機械に渡すためのツール。カッターパスの正確さ、効率性は、CAMソフトウェアの性能により、大きく異なる。 CAD/CAMとは上記の2種類の機能を持ち合わせたソフトウェアのこと。
研削盤	高速に回転する研削砥石を用いて、その砥石を構成する極めて硬い微細な砥粒によって加工物をわずかずつ削り取ってゆく精密仕上げ加工を行う工作機械。
サーフェイス/ ソリッド	サーフェイスとは、3次元コンピュータグラフィックスの立体表現手法のひとつ。ワイヤーフレームに面データが加わったもの。中身が詰まっていない、風船、張り子のようなイメージ。 対してソリッドは、サーフェイスモデルに物質の表裏や材質、重さなどの実体情報が加わったもの。粘土細工のイメージ。
ストック売上	保守契約によるCAD/CAMシステムの利用支援、機能改良版提供の対価として、恒常的な売上が月次または年次で計上される。
○軸	2軸半加工:2軸加工(平面的な輪郭加工や領域加工、穴あけ加工等)に、側面から見た形状の情報を付加する加工方法。 3軸加工:XYZ軸の3軸で同時に行う加工する方法。自由曲面を含む加工が可能となる。 5軸加工:XYZ軸に、回転軸を2つ加えて行う加工。3軸加工と比較し、連続した曲面のアンダーカット(そのままでは型が抜けない形状)を加工する場合や側面などの加工をする場合に有効。

A vertical decorative element on the left side of the page, consisting of a grid of small squares. Some squares are colored in blue, green, orange, and dark blue, while others are white. The pattern is irregular and spans the entire height of the page.

本誌記載のデータは各種の情報源から入手したものです、
その正確性を保証するものではありません。
また業績予想、見通し等は、作成時点において
入手可能な情報に基づき作成したものであり、
実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(お問合せ先)

株式会社C&Gシステムズ 総務部 IR担当

E-mail : cgs_ir@cgsys.co.jp